

無限の可能性、ここが最先端 —Outgrow your limits—



奈良先端科学技術大学院大学 における博士人材DBの 導入経緯と今後の展望

キャリア支援室
特任准教授 菅澤貴之
2014年10月27日
大阪大学中之島センター

博士後期課程学生の在籍状況 (平成26年10月1日現在)

研究科名	博士後期課程				女性の占める割合
	1年	2年	3年	計	
情報科学研究科	38 (6)	32 (4)	44 (7)	114 (17)	14.91%
バイオサイエンス研究科	34 (10)	32 (9)	47 (18)	113 (37)	32.74%
物質創成科学研究科	33 (1)	20 (4)	26 (8)	79 (13)	16.46%
合計	105 (17)	84 (17)	117 (33)	306 (67)	21.90%

※()は、女性を内数で示す。※現員数には、秋期入学者を含む。 (単位:人)

博士人材DB参加への経緯

25年10月

- NISTEPより総括上席研究官が来学し、理事・副学長（教育担当）への参加を打診（10月17日）
- 役員懇談会にて、教育担当理事が博士人材DBについて説明し、WGへの参加を決定（10月22日）

25年10月

- キャリア教育・就職支援専門部会にて博士人材DBのWGへの参加を報告（10月22日）
- 本学代表委員の選出を各研究科部会委員に依頼

26年3月

- NISTEPよりパイロット運用への参加依頼→博士後期課程3年次生を対象に参加することを決定

26年4月

- 教育研究評議会にて出席者（研究科長等）に博士人材DBの説明とWGへの参加を報告し、本年度、パイロット運用に参加する意向である旨を報告（4月15日）

26年7月

- 学生課の学生名簿より登録対象者（D3学生）を抽出し、NISTEP（野村総研）にID・パスワードの発行を依頼

26年9月

- 総合企画会議にて担当理事が博士人材DBの進捗状況を報告し、出席者（研究科長など）から意見を聴取（9月2日）

26年10月

- 教職員・学生を対象に、NISTEP・野村総合研究所の担当者を招聘し説明会を開催（10月17日）
- 学生に対してメールにてID・パスワードの配布を開始【登録の締切は11月7日に設定】（10月下旬～）

博士人材DBパイロット運用の参加状況

- **参加対象**: 3研究科博士後期課程3年次生
 - 留学生、社会人学生を含む
 - 説明会終了後に学生にID・パスワードの配布を開始したため、9月修了者は対象者として含まず(留学生が多く、修了直後に帰国するため、登録依頼が困難なため)
- **担当部局**: キャリア支援室
 - 進路・就職情報の収集を担当していた経緯から、ID・パスワードの配布など学生対応業務を担当
- **登録の主体**: 学生
 - 事務負担を軽減するため、学生自身が博士人材DBにアクセスし入力する方式を採用
- **説明会の開催**
 - 学生・指導教員の協力を得るために、博士人材DBの目的・意義を理解するための説明会を開催し、その後に、ID・パスワードを配布

博士人材DBパイロット運用に対する課題

• システムに関する課題

①初回の登録(入力)項目が多い

→「研究室での滞在時間」、「インターンシップ経験」など、学生が入力の必然性を感じられない項目があり、項目数も多い

→継続性の観点からも学生が負担を感じない程度に初回登録(入力)項目は最少限に留める必要がある

→留学生、社会人学生には入力を戸惑う項目もあるため、配慮が必要不可欠

②継続性の確保

→現時点では、学生が任意で入力するため、卒業後も継続的に入力し続けてもらうためには学生にメリット(例:証明書の発行)を提示する必要がある

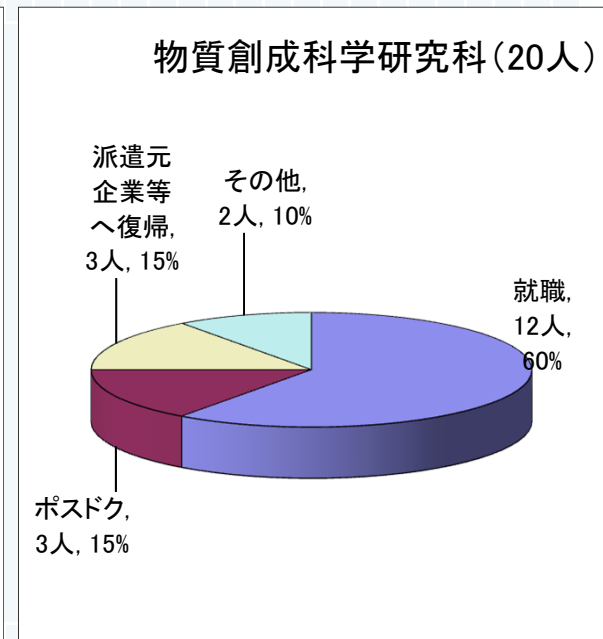
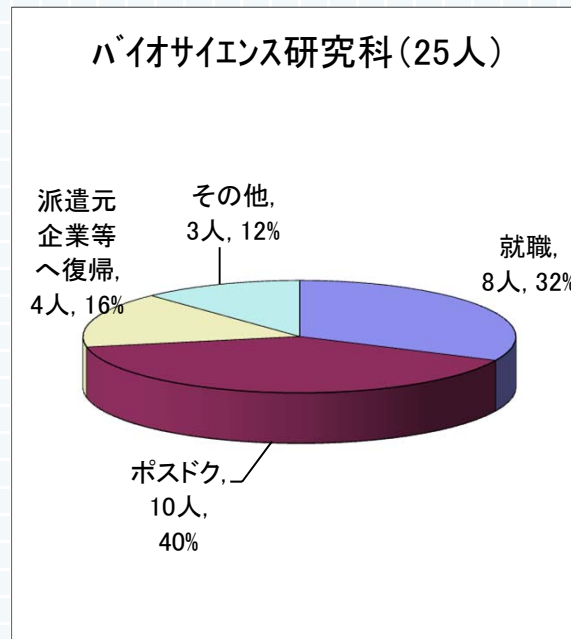
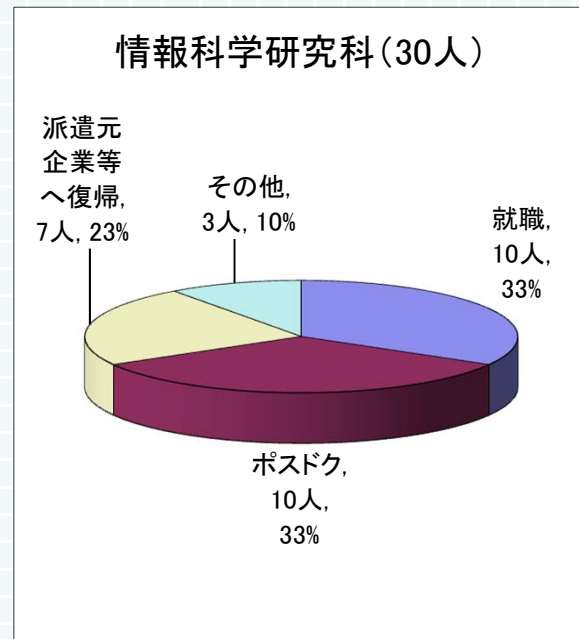
→追跡期間が定まっていないため、負担に感じる学生もいる

• 事務に対する課題

①博士人材DBの目的と必要性を共有できていないため、負担感が大きい

→学生対応のNISTEPでの一元化、フローマニュアルなどを作成して欲しいとの要望があった

平成25年度博士後期課程修了者の進路状況



< 就職先 >		< 就職先 >		< 就職先 >	
京都大学	名古屋大学	関西TLO(株)	Vietnam Academy of Science and Technology	出光興産(株)	ナノキャリア(株)
グリー(株)	日産自動車(株)	DSファーマバイオメディカル(株)	Gadjah Mada University	旭化学工業(株)	日本オクラロ(株)
(株)スペースタイムエンジニアリング	沼津工業高等専門学校	東京農業大学 第三高等学校 中等部		関西触媒科化学(株)	日本化薬(株)
東京工業大学	(株)日立製作所	長瀬産業(株)		ギガフォトン(株)	(株)バッファロー
徳山工業高等専門学校	Advanced Info Service	(株)ネオ・モルガン研究所		島根大学	福井工業高等専門学校
				東北大学	

博士後期課程学生に対するキャリア支援

- 平成25年度 キャリア支援室を設置
→博士後期課程学生、ポスドクのキャリア支援に力点を置き活動
支援メニュー: 個別相談、キャリアアップセミナー、合同企業説明会、OB講演会
- 設置の背景
→指導教員主体のキャリア支援は限界があり、全学的なキャリア支援体制を構築する必要があるとの認識から
- 本学博士後期課程学生のキャリア志向の特徴
→情報科学研究科、物質創成研究科の学生は修了後の進路として、民間企業への就職を希望する者の比率が高いが、バイオサイエンス研究科はアカデミック志向が強い

博士人材DBに対する期待と今後の展望

- 教学IRのツールとして活用

- ①本学では既存の3研究科から1研究科への改組を予定しているため、カリキュラム策定などの参考データとして活用可能となるように期待する
- ②事務職員でも利用可能な統計分析ツールを付加してもらうと活用の幅が広がるものと考えられる
- ③学内で実施している既存調査(例:ポスドク調査)を博士人材DBを行って実施したいとのニーズがある

- 事務に極力負担をかけない体制の構築が必須

- ①学生への督促などを博士人材DB側から行う等、大学事務ができる限り関与せずに、入力率を確保する体制を構築する必要がある
- ②学校基本調査を博士人材DBを用いて行ってほしいとの要望もあった

- 学生にインセンティブ(特に民間企業に就職した学生)を提供することが必要不可欠

- ①毎年、継続的に進路情報を入力してもらうためにも、登録者のメリットを提示してほしい(例:転職支援サービスとの連携)
- ②入力項目は必要最低限に留める必要がある